

令和2年度 事務事業総点検シート(1)
[令和元年度事務事業]

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業	
事務事業名	外事事業				シート番号	008-020	
担当部署名	文化観光	局	国際	部	国際	課 評価責任者(課長名)	永野

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	6	まちの魅力向上と、賑わいと交流のまちづくりを進めます		後期実施計画の位置付け
			施策	5	国際交流・国際協力の推進と多文化共生のまちづくり		無
	2	事業開始年度	平成 3 年度		終了(予定)年度	— 年度	
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)					
	4	関連計画	「堺市国際化推進プラン(改訂版)」(平成25年3月発行)及び追補版(平成30年3月発行)				
5	事業実施の経緯	国際交流業務を担う部署として、国際儀礼に関する事業(外国人賓客の表敬受入・歓迎等)を行い、また、海外都市との交流促進を図るための外国公館等とのネットワークの構築に取り組んでいる。 外国公館等誘致連携について、事業整理により、今後は歴史的・文化的につながりの深い国との交流を進めるとともに、外国公館等との連携強化やネットワークの構築をより深めていくという方針のもと、令和2年度より本事業に外国公館等誘致連携事業を統合した。					

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 () <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ()					
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	海外都市、在関西総領事館や歴史的つながりのある大使館、外国人賓客、国際交流に興味のある市民、国際化を推進する事業に関わる本市職員等					
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	外国人賓客等の接遇や海外に向けた本市のPR、諸外国との経済、観光等さまざまな分野での交流、外国公館や国際機関等との連携強化やネットワーク構築を通して、本市国際化の推進及び国際交流の促進を図る。					
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	<ul style="list-style-type: none"> 外国人賓客への接遇及び本市への理解促進 海外都市等との交流及び本市PR 在京大使館・在関西総領事館等に対する本市の魅力発信や連携事業を実施 一般財団法人自治体国際化協会堺支部の運営 海外派遣プログラムによる職員海外派遣(研修) 					
10	直接実施以外の主な支出先	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 () 一般財団法人自治体国際化協会						

Ⅲ. 投入量

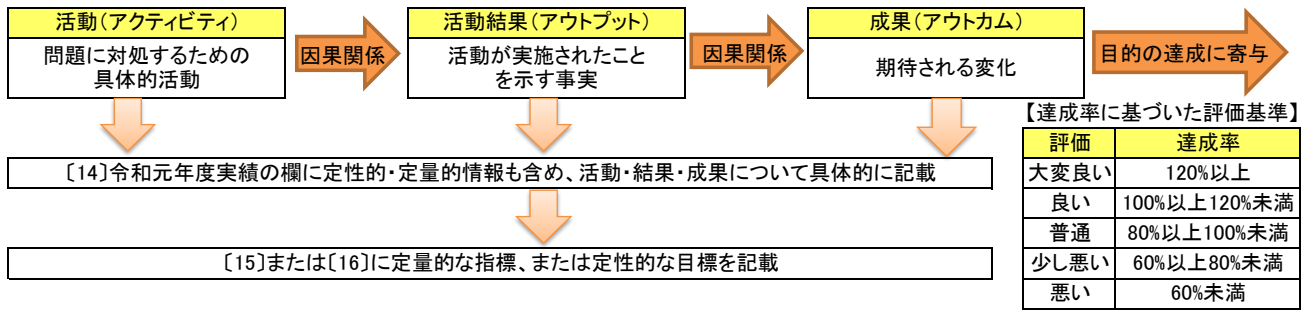
事業コスト	項目	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度
			予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算
	事業費 (a)	千円	18,591	13,083	18,491	13,597	18,539	12,518	19,356
11	主な事業費内訳								
	(一財)自治体国際化協会分担金	千円	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000
	外国人賓客等来訪時の接遇	千円	1,325	559	1,480	112	903	65	1,181
	海外訪問	千円	1,721	0	1,843	780	1,420	0	3,150
	外国公館等連携事業	千円	1,289	630	1,350	664	870	627	2,800
	財源内訳								
	国・府支出金	千円							
	受益者負担金(使用料、手数料等)	千円							
	市債	千円							
	その他(基金利子収入、指定寄付金)	千円	74	127	64	115	2,732	70	1,407
	一般財源	千円	18,517	12,956	18,427	13,482	15,807	12,448	17,949
12	人件費 (b)	千円	21,550	21,550	21,380	21,380	21,140	21,140	21,580
13	総コスト(c)=(a)+(b)	千円	40,141	34,633	39,871	34,977	39,679	33,658	40,936

令和2年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	外事事業	シート番号	008-020
-------	------	-------	---------

Ⅳ. 評価(測定・分析)

ロジックモデルの考え方



事業の活動実績や成果

令和元年度実績								
活動実績と成果	14	【PR事業】 ・地域の魅力発信セミナー(外務省主催(東京)): 在日外国公館ほかプレス関係者等に対し、世界文化遺産登録直前であった百舌鳥・古市古墳群をはじめ、堺が有する歴史、文化、伝統産業についてのプレゼン及び堺刃物の砥ぎ実演等、市内企業と連携したブースを出展した。このことにより、国内外への魅力発信、販路開拓につながるネットワークが構築できた。(国際課、世界文化遺産推進室、シティプロモーション、東京事務所、堺市産業振興センター、堺観光コンベンション協会、市内企業) ・堺まつり招致事業: 市長がホストとなり、在関西総領事館等を堺まつりに招待し、関係を構築するとともに、大パレード観覧及び茶席、古墳VR等の体験により、堺の歴史・伝統・文化の魅力を発信した。(22団体、39名参加) 【外国人賓客接客等】 ・表敬、市内視察等: チェコ本国上院議長一行、台北駐大阪経済文化弁事処、大阪・神戸ドイツ連邦共和国総領事館ほか、国際交流基金関西国際センターの研修生(外交官・公務員研修生、文化・学術専門家) 【連携事業】 ・イタリア文化会館-大阪との共催によるギターコンサート開催(高層館21階展望ロビー、無料) ・在堺チェコ共和国名誉領事館の開所式及び関西初となるチェコフェスティバル開催に協力(国際課、観光部、堺 アルフォンス・ミュシャ館等) 【その他】 自治体国際化協会(クリア) 豪州多文化主義政策プログラムにより、本市職員をオーストラリア(メルボルン市)へ派遣						
	15	指標名【活動指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		外国公館ほか諸外国等に対する本市PR事業の実施	件	目標値	8	8	8	8
			実績値	6	7	6		
			達成率	75%	88%	75%		
	評価	少し悪い	普通	少し悪い				
	算出方法・設定根拠など	外国公館等に対して堺の魅力を発信するために実施した市内視察やPRイベント等を計上している。						
	16	指標名【成果指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		外国公館等との連携事業数	件	目標値	2	2	2	2
			実績値	1	1	2		
			達成率	50%	50%	100%		
	評価	悪い	悪い	良い				
	算出方法・設定根拠など	外国公館等と共催等で実施した連携事業数について計上している。						

事業の効率性

区分		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
17	① PR事業件数	件	6	7	6
	② 上記①にかかる年間経費	千円	8,831	8,634	8,554
	③ 単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	1,471,783	1,233,411	1,425,611
備考(算出についての説明等)		PR事業に係る謝礼金や旅費、消耗品費、筆耕翻訳料等			
区分		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
18	① 連携事業数	件	1	1	2
	② 上記①にかかる年間経費	千円	8,529	8,434	8,328
	③ 単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	8,529,000	8,434,000	4,164,000
備考(算出についての説明等)		外国公館等と共催等で実施した連携事業数に係る食糧費や印刷製本費、手数料			

業績の分析

19	目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)	【分析のチェックポイント】 ○ 事業の達成度はどうでしたか。 ○ 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。 ○ 資源投入は適切でしたか。 ○ 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。 ○ 有効性は高いですか。低いですか。 ○ 効率性は向上していますか。 ○ RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありませんでしたか。 ○ ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。
	これまで、本市が側面的支援を行ってきた在堺チェコ共和国名誉領事館が令和元年9月に市内に設置され、アルフォンス・ミュシャのコレクションを所蔵する本市とつながりのあるチェコ共和国との交流がさらに促進された。これを機に、名誉領事館と協力のもと関西初となるチェコフェスティバルが市内で開催され、チェコ文化に市民が触れることができる機会を提供できた。(当該イベントでは、ミュシャの作品展示や古墳VRなど、堺市ブースを出展) また、在関西総領事館等とのつながりから、イタリア文化会館-大阪と連携してコンサートを実施することができ、上記同様、市民に還元できるものとなった。 本市PR事業や外国公館等連携事業については、先方からの要望に基づくことが多く、令和2年1月から新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、外国人賓客等の本市訪問が減少し、市内視察といったPR事業実施の機会が減少した。	

令和2年度 事務事業総点検シート(3)

事務事業名	外事事業	シート番号	008-020
-------	------	-------	---------

Ⅴ. 点検

<点検の前提>
 ○新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる
 ○新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

○上記「点検の前提」を踏まえ、事業の抜本的な見直しを検討するもの。 ⇒ ■ 確認

コロナ禍を踏まえた点検（必要性・有効性・効率性）	20	本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。 <input type="checkbox"/> 廃止できる <input checked="" type="checkbox"/> 廃止できない	事業廃止の可能性 廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 国際儀礼(プロトコール)は、国際的、公式な場におけるルールであり、国際社会の基本的なマナーであるため廃止できない。 外国公館等との連携については、海外渡航における邦人の安全確保や災害時における訪日及び在住外国人の対応での協力関係を構築する必要があり、特に災害時における円滑な情報提供などに支障をきたす恐れがある。 一般財団法人自治体国際化協会の支部運営については、政令指定都市には支部を設置する必要があり、廃止できない。
	21	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止(延期)できないか。 <input type="checkbox"/> 休止(延期)できる <input checked="" type="checkbox"/> 休止(延期)できない	事業休止の可能性 休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 同上 休止の場合の再開時期 <input type="checkbox"/> 令和2年度中 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降
	22	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。 <input checked="" type="checkbox"/> 一部廃止しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 一部休止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 規模等を縮小しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法等を改善しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 縮減できない	コストの縮減 縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場合はその理由 積極的な外国公館等の市内誘致を見直し、堺まつり招致事業を廃止する。また、誘致事業を既存公館等との連携強化にシフトすることで、コスト縮減できる。 新型コロナウイルス感染症が収束するまで、職員海外派遣研修を休止することで、コスト縮減できる。 外国人賓客等接遇については、国際的なルール、マナーで実施しているため、廃止や中止、事業規模の縮小は困難であるが、都市魅力の発信については、庁内の他部局と横断的に事業を進めることや海外訪問の場合は、可能な限り、事前にWeb会議等を用いることにより、海外での行程を縮小し、コスト縮減を図る。
	23	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 社会経済活動の維持・回復のほか、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容への対応に向け、実施手法を改善する必要があるか。 <input checked="" type="checkbox"/> 改善する必要がある <input type="checkbox"/> 改善する必要がある <input type="checkbox"/> 既に対応できている	事業手法の適切性 改善する場合は改善策、その他は理由 外国公館等との交流において実施する連携事業のイベント等においては、市民参加が見込まれる場合は、ソーシャルディスタンスの確保等、実施手法の改善が必要である。
	24	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から改善できないか。 ① <input type="checkbox"/> 公民連携の推進 ② <input checked="" type="checkbox"/> ICT活用による効率化 ③ <input checked="" type="checkbox"/> 他部局との適切な連携・役割分担 関係部署名 () 関連事業名 () ④ <input checked="" type="checkbox"/> 国・府等との適切な役割分担・連携 ⑤ <input type="checkbox"/> 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡 ⑥ <input checked="" type="checkbox"/> その他()	理由・説明 外国要人(国賓級:首相、大統領等)を迎える際には大阪府、大阪市、関西経済連合会、大阪商工会議所、堺商工会議所、本市の6者において、すでに分担・連携しているほか、すべての事業にWeb会議などのICT活用を積極的に行っていく。 また、魅力発信事業(魅力発信セミナー)については、外務省と連携し費用分担をしているほか、庁内の他部局とも連携し、効率的に実施している。 現在、在関西総領事館との連携について、大阪府・市が共催しているが、本市が参画できないか調整を図っている。 ※令和2年度より、外国公館等誘致連携事業を外事事業に組み込むことで、一本化し、効果的・効率的な事業実施に取り組んでいる。
25	これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。 所見 新型コロナウイルス感染症の感染防止の観点から、基本的に海外からの訪問団による本市への表敬訪問及び本市からの海外訪問は、当面休止する。また、外国公館等に対する情報発信等のあり方(内容・手段)については、検討する。	事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止または延期 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を縮小 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 現状を継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡充 公金投入の方向性 <input type="checkbox"/> ゼロ <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大 実施年度 <input checked="" type="checkbox"/> 令和2年度 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降	